

女性消防吏員の活躍



少しでも一緒に働きたい、消防署で活動してみたいと思っていただけたら幸いです。



間違いなくやり甲斐のある仕事です。さあ、あなたも一緒に。



消防という職業に興味のある方、憧れている方、ぜひお待ちしております。



育児と仕事の両立が叶えられます。安心して、あなたも女性消防士に。

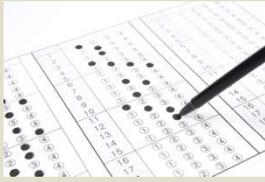
本組合の女性消防吏員

女性消防吏員は、昭和44年に初めて日本で採用されました。当時は事務仕事や広報が主な活躍の場でした。平成6年の女子労働基準規則(現・女性労働基準規則)の一部改正により、女性消防吏員の交替勤務制、すなわち、消防隊、救急隊の業務も可能となり、活躍の場が広がりました。

香取広域市町村圏事務組合消防本部には現在、4名の女性消防吏員が在籍しています。消防隊員、救急隊員、本部職員そして救急隊長を務める職員もいます。彼女たちは多彩なフィールドで活躍し、日々市民のために働いています。

香取消防では更なる女性消防吏員の獲得に向け、ポスターによる広報や女性が安心して、いきいきと職務に従事できる職場環境づくりに努めています。

消防吏員採用までの流れ



一次試験 教養試験、適性試験



二次試験 体力検定、面接試験

男性、女性を問わず高い志を持つ人材を求めています。詳しくは消防本部総務課までお問い合わせください。

女性消防吏員の紹介

令和4年4月現在

消防職員数:211名

内女性消防吏員:4名

佐原消防署 消防本部勤務2名(1名総務課・育児休業中、1名警防課)

多古分署 2名

01. 消防隊及び救急隊(階級:消防司令補) 佐原市外五町消防組合消防本部

平成14年度採用

《職歴》

- ・平成14年～平成16年 所属:消防本部警防課
- ・平成17年 所属:大栄分遣所 消防隊及び救急隊
- ・平成18年～平成19年 香取広域市町村圏事務組合消防本部



所属:消防本部警防課

- ・平成20年～平成25年 所属:多古分署 消防隊及び救急隊
- ・平成23年救急救命士取得
- ・平成26年～平成30年 所属:佐原消防署 救急隊
- ・平成31年～ 現在 所属:多古分署 消防隊及び救急隊

《仕事内容》

平成14年に前身の佐原市外五町消防組合消防本部に入庁し消防吏員を拝命。消防組織の総合的な事務を担当する消防本部警防課へ配属。各種訓練の立案や会場整備、車両や機械器具等の整備・計画、消防団行事等への参加、火災時には指揮車での出動など多岐にわたる業務を経験しました。入庁1年目は右も左もわからず、消防署って火を消すことが仕事じゃないの？消防組織とはなんぞや？初めて触るPCと書類の山に日々悪戦苦闘していました。しかしそこは、消防署が消防署であるための基盤が消防本部であり様々な事案を統括している場所でした。諸先輩の指導の下、様々経験ができたことは今の私の消防人生の基礎となり、大きな土台となっています。平成17年に救急隊の資格取得後、平成23年に救急救命士の資格を取得し現在に至ります。

《消防職員を目指したきっかけ》

端的に、事務仕事は自分に向いていないので身体を使う仕事に就きたかったです。母親に、消防署も女性職員を募集しているよと声をかけられたのもきっかけの一つです。

《メッセージ》

入庁当初は、まだまだ全国的にも女性消防吏員の数が少なく、消防本部にある施設等も未整備で見えない職域制限もありました。しかし、現在は事務仕事以外の現場活動ができる環境も整い業務の選択肢が増えました。また出産及び育児休暇取得後の女性職員のロールモデルもできあがってきています。このHPを観て少しでも一緒に働きたい、消防署で活動してみたいと思っていただけたら幸いです。

02. 消防隊及び救急隊(階級:消防士長) 香取広域市町村圏事務組合消防本部

平成23年度採用

《職歴》

- ・平成23年～平成24年 所属:多古分署 消防隊
- ・平成24年～平成30年 所属:多古分署 消防隊及び救急隊



- ・平成 31 年～令和 03 年 所属:佐原消防署 救急隊
- ・令和 4 年現在 所属:多古分署 消防隊及び救急隊

《仕事内容》

救急救命士の専門学校に通い、国家試験を受験したのち平成 23 年 4 月に入庁しました。現在は救急業務を中心に仕事しています。傷病者をどの病院へ搬送するのがベストか、傷病者をどのような搬送方法で、どんな応急処置を施したら少しでも苦しさや痛みが和らぐのかを常に考えて出動・現場活動をしています。同じ現場は一つとなく、毎日反省、勉強することばかりですが、とてもやり甲斐を感じています。香取消防は都会ほど職員数が多いので、消防隊を兼務する署に配属になった際、火災時は消防隊員としても現場に出動しています。普段は救急隊員であったとしても、そこは消防の専売特許である火災現場で、市民の財産を守るため、当然男性職員と同じように活動ができるよう日々の訓練と体力錬成はかかせません。最近では、中型運転免許を取得し、機関員養成訓練を経て、管内のほとんどの消防車両を運転できるようになったことがとても嬉しいです。

《消防職員を目指したきっかけ》

もともと男兄妹の中で育ったのもあり消防車両に興味がありました。高校生の頃家族で引っ越して住んだ場所が消防署の近くで、学校の行き帰りによく訓練したり出動したりしている消防士の方々がかっこいいと思っていました。ある漫画で救急救命士の存在と女性消防吏員を知り、私もこんなかっこいい仕事がしたいと思ったのがきっかけです。

《メッセージ》

間違いなくやり甲斐を感じられる仕事です。ベタかもしれませんが、災害で 1 番最初に傷病者や要救助者に接触することへの使命感、そんな方々からの「ありがとう」や「あなたが居てくれてよかった」という言葉は本当に何にも変え難い力になります。訓練や体力錬成、出動等で体力的にとっても大変なイメージがあるかと思いますが、私も最初は体力が無いほうでしたし、身長も小さく華奢でした(今も多分・・・)。しかし何も心配することはありません！やる気と志さえあればなんでも乗り越えられると信じています。さあ、あなたも一緒に。

03. 消防隊(階級:消防士長) 香取広域市町村圏事務組合消防本部

平成 25 年度採用

《職歴》

- ・平成 25 年～平成 29 年 所属:多古分署 消防隊
- ・平成 30 年 所属:多古分署 救急隊
- ・平成 31 年～令和 03 年 所属:佐原消防署 消防隊



・現在育児休業中

《仕事内容》

火災現場、救急現場に行き火を消したり、怪我の処置をして病院へ搬送したり仕事内容は、皆さんがだいたい想像している通りかと思います。よく「消防署の女性はどんな仕事をしていますか？」といったような質問をされることがありますが、男性と全く同じ仕事内容です。大型の消防車を運転して現場へも向かいます。また、火事に着ていく防火衣を素早く着る訓練、空気呼吸器やホース等を持って走ったりもします。正直とても重いですが、女性にできないことはありません。慣れやコツをつかめば絶対にできるようになります。

《消防職員を目指したきっかけ》

大学生のときにインターンシップで消防署に行く機会があり、その時対応してくださった人の中に女性も数名いて「あ、女性もいるんだ！体育会系っぽい仕事だしいいなあ」というような率直な感想でした(笑)日に日に消防士の仕事ってカッコいいなあという思いが募り、突如公務員試験対策を始めたのがキッカケです。

《メッセージ》

最初は皆わからないことばかりというのが当たり前です。年数を重ねるにつれ、消防署の仕事に慣れ色々な仕事内容が身に付いてきます。そうすると自分のできる分野が広がり、とてもやりがいを感じます。まだまだ女性消防職員の認知度は低いですが、全国的に女性消防職員の交流等が各地で開催され、横のつながりがとても深いです。消防に限らず、女性が働きやすい環境に力を入れ移行しつつあると思います。消防という職業に興味のある方、憧れている方、体力に自信がある方、是非お待ちしております。

04. 本部勤務・警防課(階級:消防副士長) 香取広域市町村圏事務組合消防本部

平成 27 年度採用

《職歴》

- ・平成 27 年～令和元年 所属:多古分署 消防隊及び救急隊
- ・令和 2 年育児休業
- ・令和 3 年～現在 所属:佐原消防署 消防本部警防課

《仕事内容》

救急救命士国家試験受験後に入庁。3年ほど消防隊と救急隊を兼務し、火事も含めさまざまな現場に出動しました。入庁してすぐ消防学校へ入校し、そこで基礎体力と現場に役立つ基本訓練、消防士になるための必要最低限な知識を徹底的に叩き込まれ、仲間にも出会い、辛い6ヶ月間でしたが今となっては良い思い出です。育児休業から復帰後は消防本部警防課配属となり、現在は主に救急業務全般に関わる事務仕事をしています。現場経験もまだ浅く、



不安でしたが諸先輩方の指導を受け少しずつ業務をこなしている日々です。仕事に追われ目まぐるしい毎日ですが、一緒に働いている先輩方の影響もあり、いつも笑顔で仕事ができています(笑)

《消防職員を目指したきっかけ》

消防団員だった父の影響で、幼い頃から消防というものを身近に感じていました。また、生まれ育った佐原で仕事をしたいという思いから、消防士を目指しました。

《メッセージ》

正直なところ、まだまだ女性消防吏員は少なく、珍しく思われることも少なくありません。自分がこの職に就いてからより女性消防吏員の必要性を感じています。子供や女性の傷病者を救急搬送する際や、心肺蘇生法を学ぶ救命講習、地域の皆様との交流では、女性ならではの柔らかい対応が強みになると思っています。育児と仕事の両立も叶えられます！たくさんのサポート制度がありますので、安心して、あなたも女性消防士に！

女性用施設

女性消防吏員の交替制勤務に対応できるよう施設・設備の環境を整えています。現在7施設のうち2施設において女性消防吏員が当直できる施設となっています。

令和6年度にももう一つ女性消防吏員が当直できる施設を建設予定です。



多古分署 女性部屋

女性部屋内廊下



仮眠室



洗面台



佐原消防署 女性部屋

仮眠室



洗面台



脱衣所

